

# ふくおかのふくし

Welfare of Fukuoka

# 1

Nov.2014  
No.143



新たな作品を生み出す創作活動の様子（5頁掲載）  
～障がい者福祉サービス事業所 葦の家～

## 今月号の主な内容

- 特集  
「福岡県70歳現役応援センター ～新たなチャレンジを応援～」 . . . P1
- 地域を元気にする社協ボランティアセンター . . . P3
- 共同募金会  
「美味しく！楽しく！赤い羽根チャリティちゃんこ会」 . . . P7

じぶんの町を良くするしくみ

**赤い羽根共同募金**

この広報誌は、一部共同募金の  
配分金を受けて発行しています。



## 特集

# 福岡県70歳現役応援センター

# 新たなチャレンジを応援

「定年を迎えたが、まだまだ働きたい。」「長年の経験を何かに活かせないだろうか。」「社会とつながっていききたい、仲間や生きがいを見つきたい」…。

専門相談員は、就業や社会参加を希望する方一人ひとりの相談に応じ、それぞれの経験や技能、知識を活かすことができる進路を提案。「活躍の場と一緒に探しましょう。」の言葉に相談者に笑みが溢れます。



専門相談員が一人ひとりの相談に応じます

### ■「70歳現役社会」を目指す

福岡県では、「65歳からは高齢者」という意識を改め、年齢にかかわらず、働いたり、NPO・ボランティア活動などで活躍することができ、選択肢の多い「70歳現役社会」づくりに取り組んでいます。

施策の柱として、いきいきと働くことができる仕組みづくりに併せて、共助社会づくりへの参加促進を掲げているのが特徴です。

### ■全国初の70歳現役応援センター

福岡県は、全国初の高齢者のための総合的支援拠点「福岡県70歳現役応援センター」を、平成24年4月に福岡市にオープン。

平成25年5月には、県内2か所目の拠点となる北九州オフィスを開設するとともに、筑後・筑豊地区出張相談も開始しました。

センターの機能は4つあります。  
(図参照)

その中で、中心となっている機能は、高齢者のための「就業・社会参加支援」です。

### 福岡県70歳現役応援センター 4つの機能

高齢者の活躍の場の拡大	就業・社会参加支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者向けの求人の開拓</li> <li>・70歳まで働ける企業の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門相談員による多様な選択肢の提案</li> <li>・コーディネーターによるマッチング</li> </ul>
意識改革	ふくおか子育てマイスターの認定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営指導員向けセミナー</li> <li>・企業向けセミナー</li> <li>・従業員向けセミナー</li> <li>・ソーシャルビジネス起業セミナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな経験を持つ高齢者に、地域の子育て現場で活躍してもらう制度</li> </ul>

センターでは、専門相談員が高齢者の経歴や技能、希望をお聞きして、再就職、派遣、シルバード人材センター、NPO・ボランティア活動など一人ひとりにあった多様な選択肢を提案。再就職を希望される方には、「企業との仲人役」となるコーディネーターが、再就職のあっせんをし、採用面接への同行も行っています。

### ■広がる高齢者の活躍の場

センターには、働きたい、地域で活躍したいという高齢者の方が多く訪れています。開所からの登録者数は2,527人、延相談件数は11,877件のほりまます。



センターには活躍の場を求め、多くの高齢者の方が訪れます

そして、センターのきめ細かな支援の結果、808人の方の再就職や社会参加が決まりました(平成25年12月末現在)。

「豊かな経験や技能をもった高齢者の方は即戦力。また、柔軟な勤務形態にも対応できる方も多い。企業にとっても高齢者の雇用はメリットになるはず。高齢者が活躍できる場は増えていきます。」と、センターの大里康裕高齢者支援課長。

県内には就労意欲の高い高齢者が多くおられます。一方、今後、少子高齢化の進行に伴い、生産年齢人口が減少します。年齢にかかわらず、活躍し続けることができる「70歳現役社会」の実現に向けて、センターの取組みに期待が寄せられます。

■新たな挑戦。活躍する高齢者

「こんにちは。セブニーイレブんです。ご注文の品をお持ちしました。」

商品に笑顔を添えて自宅に届けた秋山敏江さん(66)は、福岡県70歳現役応援センターを通じて、セブニーイレブン宇美井野店に就職したシニアスタッフです。

平成25年11月、福岡県と株式会社セブニーイレブン・ジャパンは、高齢者雇用の推進などを柱とする「包括提携協定」、宅配サービス時に高齢者の見守りを行う「見守りネットふくおか協定」を締結。

セブニーイレブンでは買い物物支援助や宅配サービスの担い手として、センターを通じて、高齢者の気持ちを理解できる、元氣なシニアスタッフの採用を進めています。



宅配サービス中に見守り活動を実施



「商品の並べ方で売り上げもアップしますよ」と秋山さん

秋山さんは、65歳を迎えたとき、自宅にこもってはいけなないの思いを強くし、介護資格の勉強などを始めました。さらに、まだまだ社会のために何かしたいと、新たに挑戦する気持ちで、センターを訪ね、そこでセブニーイレブン店員の仕事を紹介されました。

昨年10月から勤務が始まった秋山さん。現在、週1日2時間の勤務で、宅配や清掃、品出しなどの業務をこなし、レジ操作を習得中です。「まだまだ、接客の時には緊張しますし、勉強中です。でも、店長をはじめスタッフの皆さんがゆっくり丁寧に教えてくれるので安心です。」と秋山さん。

店長の山下美希さん(22)は、「清掃や陳列では、細かいところに

目が行き届いています。若いスタッフが学ぶところが多くあります。」とシニアスタッフならではの気配りに太鼓判を押します。

「この年齢で、新しい仕事に就けるとは正直思っていませんでした。私にも活躍できる場所が見つかり嬉しく思います。健康なうちはいつまでもここで働き続けるつもりです。皆さんもチャレンジしてほしいですね。」秋山さんは、同世代の方々にメッセージを送ります。

■福岡県から九州へ、そして全国へ

平成25年10月に開催された九州地方知事会で、福岡県の取り組みを参考に、九州が一体となって「70歳現役社会づくり」に取り組むことが決定されました。

「九州・山口70歳現役社会づくり研究会」を設置し、活躍したい高齢者への支援策、高齢者が活躍できる職場づくりなどを検討しようというものです。

九州・山口は、全国を上回るペースで高齢化が進行しており、超高齢社会への対応は、喫緊の課題となっています。

福岡県が発信する「70歳現役社会づくり」に、九州が一体となって取り組み、さらに、全国へ展開されることが期待されます。

お気軽にご相談ください

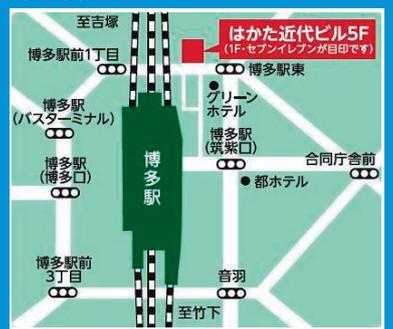
福岡県 70歳現役応援センター 北九州オフィス

- ご利用時間  
月曜～金曜 9:30～18:00  
(祝日、年末年始を除く)
- お問い合わせ  
☎ 093 (513) 8188  
FAX 093 (513) 8190
- ホームページ  
http://70-f.net/
- 所在地  
北九州市小倉北区船場町2-10  
近藤会館ビル4階



福岡県 70歳現役応援センター 福岡オフィス

- ご利用時間  
月曜～金曜 9:30～18:00  
(祝日、年末年始を除く)
- お問い合わせ  
☎ 092 (432) 2577  
FAX 092 (432) 2513
- ホームページ  
http://70-f.net/
- 所在地  
福岡市博多区博多駅東1-1-33  
はかた近代ビル5階



【出張相談】 筑後地区 (週2回)、筑豊地区 (週1回) で出張相談を実施。お問い合わせ・予約は福岡オフィスまで。

# 地域を元気にする 社協ボランティアセンター

近年、よく耳にするようになった言葉「ボランティア」。3年前の東日本大震災の際も「何か自分にできることはないか」と熱い思いを持ったボランティアが全国各地からたくさん集まり、今でも復興に大きく貢献しています。

災害時だけでなく、日頃から地域のためにボランティア活動をしたい人がいます。ボランティアの支援を必要とする人もたくさんいます。それをつなげる役割を持っているのが、ボランティアセンターです。

地域福祉の推進を担う社会福祉協議会ではボランティアセンターを設置し、福祉への住民の参画をすすめる、より良い地域福祉活動の環境整備に繋がっています。

今回は春日市社協が設置しているかすがボランティアセンターの取り組みを紹介し、社協ボランティアセンターの役割について考えます。



かすがボランティアセンター

春日市は福岡市の南東に位置しており、人口は約11万人で高齢化率は17・4パーセント、福岡市のベッドタウンとして都市化が進んでいる地域です。

かすがボランティアセンターは2名の専任職員と1名の非常勤職員で構成されており、「まちのみんながボランティア」をキーワードに、住民相互の助け合いを強化するために

活動を行っています。

かすがボランティアセンターについて、春日市社協ボランティアセンター係 係長の白水 清さんにお話を伺いました。

## ボランティアセンターを支えるボランティア

かすがボランティアセンターは約300名の個人登録ボランティアと45のボランティア団体によって支えられています。ボランティアセンターでは、個々のボランティアが希望する活動や活かせる特技などを考慮しながら、支援を求める人（団体）とをコーディネートしています。

また、ボランティアの関心を高めるためにも、活動の参加促進を目的に、広報誌「しあわせ」「ボランティア通信」の発行や、市報への掲載など、積極的な広報活動を行っています。

## 住民の声から生まれた事業

### ○おたすけサービス

春日市では、平成21年から65歳以上の高齢者を対象として、介護保険サービス外の日常生活支援（洗濯、掃除、ごみだしなど）を行う生活支援事業を行っています。障害者や



かすがボランティアセンターのみなさん

子育て家庭など、このサービスに該当しない住民からのニーズに対応するため、春日市社協では平成24年度から対象者の裾野を広げた「おたすけサービス事業」を開始しました。

支援者は、養成研修を修了した生活支援サポーターで、現在79名の方が登録しており、昨年度は延べ50名の方が利用されました。

白水さんは「今後は、新たなニーズの発掘のため広報を強化するとともに、様々なニーズに対応できるように、新たな生活支援サポーターの養成を行い資質の向上を図っていきたい。」と話されました。

### ○移送サービス

在宅で車いす等を使用している方

は、既存の交通機関の利用が困難な場合が多くあります。通院や買い物の際に安心安全に移動できたら、という住民の声から、「住民参加型 移送サービス事業」を行っています。

現在、8名の協力会員が運転ボランティアとして活動しています。

新たなボランティアの発掘や育成のために年間を通じてさまざまな講座やイベントを開催しているがボランティアセンター。

白水さんは、「今後は近隣大学とも連携し、広報活動も強化してさらなるボランティアの発掘を図りたい。」と今後の展望を話されました。



日頃から地域に根差した活動を行っており、住民に近い存在である社は、課題把握やボランティアへの支援が行いやすく、行政など他の専門機関との連携がしやすいという強みがあります。この強みを活かし、地域福祉の活性化に向けて、人と人を繋ぐコーディネート力が、今、社協ボランティアセンターに求められています。

## 平成25年度 市区町村社協地域・ボランティア担当職員研修会 「地域を元気にするボランティアセンター」

平成25年12月13日（金）、クローバープラザ（春日市）で「平成25年度市区町村社協地域・ボランティア担当職員研修会」地域を元気にする社協ボランティアセンター」を開催しました。

31市区町村社協40名の参加を得た本研修会は、昨年度に開催したボランティアコーディネーターの基本を学ぶ研修会の内容を踏まえ、コーディネーターとして必要な知識や技術を学びました。

### 地域・個別課題を把握するために

全国各地で地域福祉やボランティアコーディネーションの実践と研究をすすめている特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会運営委員の早瀬昇氏に「ボランティアコーディネーターとしての地域・個別課題の把握」と題して講演いただきました。

早瀬氏は「課題とは、現状とあるべき状態のギャップであり、ボランティアコーディネーターとして、あるべき状態がどういうものなのか、ということをしつかりと捉えきれない。福祉感を持たなくてはならない。ただ目の前にある課題だけを見るのではなく、その人の生活や背景をしつかり見据え、寄り添って対応していくことが大切だ。言い換えれば、本人に寄り添わないと本当の課題を捉えることができない。また、課題の把握や解決のためには、『あれっ』と思った時にすぐに動けるフットワークの軽さも重要だ。地域に向向いたり、県内外の研修に参加できるフットワークを持つことで、信頼感

### 事例検討をとおして

を伴ったネットワークが生まれ、課題の把握につながったり解決の糸口を見つけてあげることができるように。」と、課題把握に必要な視点について話されました。



午後からは、早瀬氏の進行のもと、「課題対応へのプロセス」と題して事例検討を行いました。各グループで、事例に対して、課題解決のために、ボランティアと協働し、どのような取り組みができるかを考えました。

早瀬氏からは「ボランティア活動は共感によって広がっていくもの。課題解決のためには、共感していく人をどのように作っていくかということが大切である。」とアドバイスいただきました。

### 【問い合わせ先】

地域福祉部 地域課  
092(584)3377



特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会運営委員、社会福祉士大阪ボランティア協会常務理事早瀬昇氏

## 創作活動から「表れるカタチ」

赤、青、緑、黄、紫、色とりどりに描かれた絵はステンドグラスのよう。

高さ2メートルに達しそうな大きな絵。それはビーチサンダルの原型となるゴムに描かれています。

神奈川県にある国内初の野外美術館『箱根彫刻の森美術館』。そこにはピカソをはじめとする著名アーティストの作品が展示され、国内外のアートグッズが多く販売される中、2013年春から夏にかけて、葦の家がデザインしたビーチサンダルが展示・販売されました。

障がい者福祉サービス事業所 葦の家には、現在51名が通っています。日中活動のひとつとして、アート活動を Studio Ashi（スタジオアシ）と呼び、主に絵画を中心に行っています。

完成した作品は、Tシャツやトートバッグなどの布製品、缶バッジやマグネットなどの雑貨、クリアファイルや一筆箋などのステーションナリーにデザインされ、販売されています。



山口恵一郎さんの作品は千葉ロッテマリーンズとコラボしてビーチサンダルとして商品化されました

す。商品の梱包は自助具を用い、主に利用者が行っています。

その他、羊毛を使ったフェルト創作、粘土を使った立体物創作など利用者の好きなものを見つけ、新たな表現の『カタチ』を模索しています。

また、表現や作品を直に触れることができるアートライブなどのイベント参加や展示会の開催、さらには、外部企業とのコラボレーションなどを行い、作品がより広く繋がるように発信しています。



デザインはビーチサンダルやTシャツなどにプリントされ、百貨店などでも販売されています



神奈川県にあるビーチサンダル専門店「げんべい」とのコラボ企画の巨大アート（9名による合作）。「箱根彫刻の森美術館」に期間限定で展示され、ビーチサンダルとして商品化されました

利用者の創作活動をサポートする村谷つかささんは、「重度の知的障がいがある利用者が多いですが、表現できない人はいないことを信じ、活動を行っています。利用者の作品が生まれるためには、スタッフが柔軟な発想で根気強く、安心して表現できる環境をつくる必要があります。すぐに成果を求めてしまうと創作の時間を楽しいものと感じられなかったり、スタッフの意図が強くと映され、本人のものではなくってしまいます。利用者と向き合い、好きなことや関心のあることを糸口に、少しずつ刺激を与えながら、内側から溢れてくるのを待ちます。これは、数年かけての取り組みになります。意欲や喜びに結びついた時、生き生きとした作品とたくさん可能性が生まれます。そこから様々な活動につながり、新たな『カタチ』となります。」と話されます。

12月24日から26日、アイランドシティ・アーバンデザインセンター（福岡市東区）で開催された展示会『ふゆのあつまりーあたたためあうカタチー展』。

作品展示だけでなく、アートを通



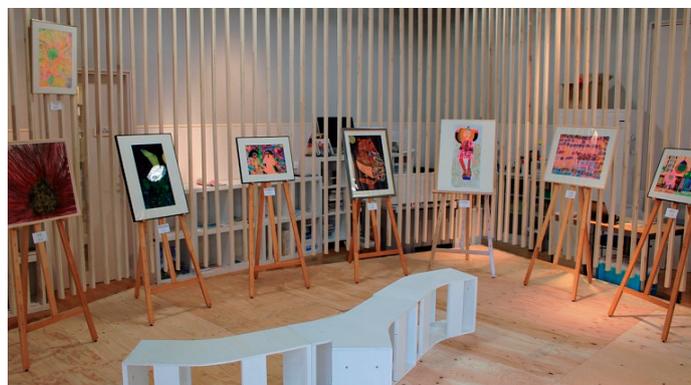
作者自らが作品説明を行い、会場は終始賑やかな雰囲気『ふゆのあつまりーあたたためあうカタチー展』より

して来場者と利用者が交流できるワークショップや缶バッジづくりなどを行い、地域の方々をはじめ、多くの方が来場されました。

「障がいのある方々の作品を初めて鑑賞しました。色彩豊かで、どれも目を引きまします。作品説明もわかりやすかったです。」と来場者は交流を楽しんだ様子。

そこには葦の家が目指すアートを通じて繋がり、発信する『カタチ』がありました。

「年々利用者が増え、十分な活動時間と表現しやすい環境を確保することが難しくなっています。みんなが利用できるアトリエを作り、もつとのびのび活動できる場を提供でき



作品の一部が展示。外部企業からオファーが届くことも『ふゆのあつまりーあたたためあうカタチー展』より

ればと思っっています。そこには同時に、地域の方や子ども、学生などが集う交流の場、障がいのある人が自分の表現で仕事をやる場、そして利用者たちが発信して生まれる豊かな地域づくりの場にしていきたいと考えています。」村谷さんは笑顔で話されます。

色とりどりの絵の具が飛び散った作業台にむかう葦の家のアーティストたち。そこから生み出される作品は地域を飛び出し、今ではデパートや県外で見かけることも多くなりました。皆さんも一度感性豊かな作品に触れてみてください。

## まごころ製品情報



〒814-0153 福岡市城南区樋井川 4-1-17

☎ 092 (834) 3361 FAX 092 (834) 3362

HP <http://www3.ocn.ne.jp/~ashinoie>

Blog <http://studioashi.exblog.jp/>



マグネットセット ¥300

あしてぬぐい「ヤスコ」  
¥1,500



作品に触れることができるイベントや商品情報は、[ブログ](#)をチェック

studioashi

検索



羊毛 100% ラッコスター ¥500

まごころ製品とは・・・

福岡県では、障害者施設で製造(栽培)される食品や縫製品など、障害者の皆さんがまごころを込めて作った製品や提供しているサービスを「まごころ製品」と呼んでいます。障害者の皆さんが、「自立」を目指し、それぞれのアイデアや工夫、作り手の個性を活かした製品づくりに一生懸命取り組んでいます。本誌では今後も「まごころ製品」を紹介してまいります。

# 筑紫野市社会福祉協議会の取り組みから

## 特製ちゃんこで

## 美味しく楽しくふれあひの時間



共同募金は、誰もが安心して暮らせるように、高齢者支援や子育て支援、障害者支援など、様々な地域の福祉活動を支えています。

このような地域福祉活動を推進するためには、地域住民の理解と協力が必要です。

筑紫野市社会福祉協議会では、楽しみながら参加いただけるよう、12月17日に、「赤い羽根チャリテイちゃんこ会」を開催しました。

九州情報大学相撲部の力強いぶつかり合いにお客さんも大盛り上がりでした。



参加者がちゃんこを味わいながら、楽しく過ごせるようステージが用意され、相撲部員の皆さんが、股割、四股踏み、ぶつかり稽古などを披露し、会場からは大きな拍手があ



参加者と相撲部員との交流もちゃんこ会の醍醐味でした！



ちゃんこの熱い汁もなんのその！まわし姿でお手伝い

がっていました。また、紫公民館で練習している「琉球音楽 鳥思（しまうむ）」の皆さんの演奏もあり、にぎやかな時間となりました。

参加された方からは「初めてちゃんこを食べたけれど、だしが美味しかった。」「学生さんの頑張る姿に元気をもらった。美味しいし、チャリテイにもなるし、今日は来てよかったです！」との感想が聞かれました。

参加費は全て共同募金に寄付され、筑紫野市の福祉活動などに活用されます。

## 共同募金運動・歳末たすけあい運動 ご協力ありがとうございました！



福岡県共同募金会では、「共同募金運動」を10月1日から12月31日まで、「歳末たすけあい運動」を12月1日から31日まで実施しました。

運動期間中は、募金ボランティアの皆様のご協力を得て、県民の皆様から多額の浄財をいただきました。

本当にありがとうございました。

お寄せいただいた浄財は、本会配分委員会で厳正な審査を行い、福岡県の地域福祉推進や大規模災害に備えた積立金として活用させていただきます。





# 赤い羽根 NEWS

## 買物を楽しんで、地元大牟田市をHAPPYに!!

『よかもん商店街加盟店』 × 『福岡県共同募金会大牟田市支会』の合同調印式を行いました。

今回、大牟田市内の商店が集まった団体「よかもん商店街」に加盟するすべての店舗（18店舗）と、福岡県共同募金会大牟田市支会が協働して、各店舗の売り上げの一部を共同募金会に寄付する「寄付つき商品」を企画し、平成25年12月16日に合同調印式を行いました。一度に18店舗が調印を行うのは、全国初の取り組みです。よかもん商店街 会長 松永 匡弘 さんは、「地元の福祉のために使われるのなら商店街で取り組みたい!」と今回の協力理由を話されました。

この寄付金は、大牟田市の地域福祉活動（高齢者の見守り訪問活動など）に活用されます。



18店舗集合!  
皆さん素敵な笑顔です。



調印式の様子  
左 よかもん商店街 会長 松永 匡弘 氏  
右 大牟田市支会 副支会長 宮本 勇司 氏



「交通事情等の理由で買い物に不自由を感じている人のもとへ商店街をまるごと持ち出し、活気ある商店街の雰囲気を感じてもらいながら買い物を楽しんでもらおう」と、大牟田市内にある商店（18店舗）が集まってできた団体です。

平成22年からの取り組みで、市内の地域交流センターや介護老人福祉施設などへ月2回程度、商店街が出張し、お客さんに商品を実際に『見て』『触って』『選んで』、店員さんとの会話も楽しめる、『買い物の楽しさ』を、お客さんに運んでいます。

お問い合わせは、  
よかもん商店街（めがねの松永）  
TEL 0944 - 56 - 8855

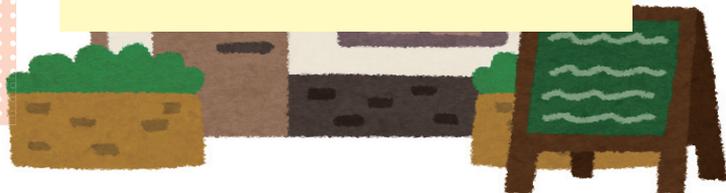
寄付つき商品とは・・・

「寄付つき商品」とは、各企業等が提供する商品等を、購入者（地域住民）が購入・利用するごとに、一定の割合で企業等が売り上げの一部を共同募金会に寄付する取り組みです。

この取り組みは、全国的に「募金百貨店」として広がっています。

【問い合わせ先】

福岡県共同募金会  
092 (584) 3388





合唱フェスティバル全出演者によるフィナーレ

# はつらつと生きる

## 第13回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭開催

「はつらつとした高齢社会を築く」一。スポーツや文化活動を通じて、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを支援するために福岡県では「ねんりんスポーツ・文化祭」を開催しており、世代を超えた交流の輪を着実に広げています。13回目となる今大会のメインイベントを11月24日（日）、北九州市八幡西区の黒崎ひびしんホールで開催しました。晩秋の晴天にも恵まれ、世代を問わず県内各地から多くの方々が参加され大盛会でした。



アルピニスト 野口 健さん

●合唱フェスティバル  
 公募により申し込みがあった6つの合唱団が素晴らしい歌声を披露。特にゲスト出演の地元児童合唱団・北九州アカデミー少年少女合唱団との迫力ある共演は来場者に感銘を与え、合唱を通して、豊かな感性や心を見事に表現されました。

●式典・記念講演  
 式典では、小川弘毅実行委員長（福岡県社会福祉協議会長）が開式の辞を述べ、主催者代表として大会会長 小川洋福岡県知事がはつらつとした長寿社会づくりについて力強く挨拶されました。  
 記念講演では、アルピニストの野口健さんが自らの登山挑戦の経験等を踏まえて、「目標を持って生きる



布草履製作の実演では熟年の技を披露



お孫さんと絵手紙体験

ことのすばらしさ」について熱く語っていただきました。  
 野口さんのユーモアを交えた話に会場は時折笑いに包まれながらも、来場された皆さんの真剣な眼差しが印象的でした。

## ●各種体験イベント

八幡東区老人クラブ連合会や上毛町老人クラブ連合会による地域文化伝承コーナー、ボランティア団体ひなたぼっこによる絵手紙体験コーナーでは、協力いただいた皆さんが竹細工や布草履制作、絵手紙づくりをいきいきと実演。

中には、三世代で楽しそうに制作体験に取り組む姿も見られ、各コーナーは地域間、世代間でのすばらしい交流の場となりました。

## ●展示イベント

おじいちゃん・おばあちゃんの絵コンクールと俳句交流大会（12句）、



親子3世代で入賞作品を観覧

短歌交流大会（11首）の入賞作品を展示しました。

おじいちゃん・おばあちゃんの絵コンクールでは、県内の小学生が夏休みに大好きなおじいちゃんやおばあちゃんを画用紙いっぱい描いて応募。5,878点の中から最優秀賞6点を含めた入賞作品60点が展示され、多くの親子連れやおじいちゃんおばあちゃんとお孫さんが一緒に観覧する姿が見られました。

「私の絵があつたよ。」笑顔と弾む会話の中で、児童が描いた絵は、受賞の有無を問わず、大好きなおじいちゃんおばあちゃんへの思いが伝わってきました。



北九州グルメを求め賑わうふれあい市場

## ●地域・文化交流イベント

地元のグルメや特産品、障害者がつくるまごころ製品等の販売・試食を行ったふれあい市場では、これまでの大会以上に多くの団体、施設や高等学校等に協力いただき、お目当ての品を買い求める来場者の行列ができるなど大盛況でした。

北九州グルメの焼きうどんや戸畑ちゃんぽんをはじめ、合馬のたけのこピザ、焼き菓子等を食べながら家族や友達同士で談笑する姿で休憩用の大型テントが賑わいました。

スポーツ・レクリエーション体験コーナーでは、子どもから大人まで元気に楽しみながら気軽に身体を動かしていました。

高齢者の就職や社会参加を応援する70歳現役応援センター出張相談会にも多くの方が参加されました。また、健康福祉コーナーでは、世代を問わず終日行列ができ、来場者が健康づくりの重要性を再認識できました。



「健康ではつらつと暮らし続ける。」福岡県ねりんスポーツ・文化祭に参加された方々にとつては、スポーツ・文化交流大会、合唱フェスティバルや各種イベント等が、ことうした思いを実現するための契機となったのではないのでしょうか。



平成25年度 子育て支援研修会

子育て支援に

## かたろう

どなたでも  
参加できます

託児つき

参加費無料

子育てをめぐる状況や課題を認識するとともに、「地域の子育て力」を活かした様々な実践の報告を通して、地域ぐるみの子育ての大切さについて学びます。

**日時** 平成26年2月12日(水) 10:30～15:00  
(受付9:45)

**講演** 10:40～12:10

子どもを取り巻く環境を考えよう！  
～子どもとメディアの関係と地域の子育て力の重要性～

講師 原 陽一郎 氏  
(九州大谷短期大学 幼児教育学科 教授)

**実践報告** 13:00～15:00

「地域の子育て力」を育むために、  
子育て支援者として何ができるか考える

- ・子育てサロン@SACHI(東京都) 高橋 雅栄 氏
- ・ふくおか子育てマイスターあゆみ 平川 久男 氏
- ・糸島市民生委員児童委員協議会 日高由美子 氏

会場

九州ビル 9階大ホール  
福岡市博多区博多駅南1-8-31



## 平成25年度 みんなが主役の元気な地域づくりセミナー

本セミナーは、現在地域が抱える問題について、地域住民、ボランティア活動者、専門職などの参加者が一緒に考え、官民一体となった住民主体の元気な地域づくりを進めることを目的に開催します。

**日時** 平成26年3月3日(月) 10:30～15:30  
(受付9:30)

**講演** 10:45～12:15

“ご近所の底力”で元気な地域づくり

講師 黒川 敬 氏  
(NHK放送局 チーフディレクター)

**実践報告** 13:45～15:30

- ・鞍手町社会福祉協議会 渡邊 伸也 氏
- ・ケアホーム三原さん家(久留米市) 三原 圭子 氏
- ・NPO法人にしはらたんぼぼハウス(熊本県) 施設長 上村佳代子 氏

- 参加費無料
- 会場で障害者が作った  
まごころ製品を販売!
- 楽しいレクリエーションも開催!

会場

福岡国際会議場 2階  
多目的ホール

福岡市博多区石城町2-1



【参加申し込み・問い合わせ先】 地域福祉部 地域課

☎ 092(584)3377

FAX 092(584)3369

HPアドレス: <http://www.fsw.or.jp/>

## Q 認知症の人の徘徊についてお尋ねします

私の母（78才）は認知症の診断を受け、介護認定を受けたものの一日中自宅で何もすることもなく過ごしています。

介護支援専門員の方から「デイサービス」を勧められましたが、本人が嫌がりそのままになっています。認知症が進行するのではないかと心配です。

## A 認知症の方の日々の過ごし方は、ご家族にとって心配ごとの一つになっています。

認知症高齢者の方が、医療機関や福祉制度の利用を嫌がられることもあり、ご家族だけでは対応に行き詰まることもあります。

まず、次のような働きかけをしてみましょう。

- ◆かかりつけ医から勧めていただく  
事前にかかりつけ医に家族が相談をする。本人の状態をメモして伝える。
- ◆家族も一緒に、見学に行こうと誘う
- ◆知人・友人など親しい人に誘ってもらう
- ◆介護支援専門員と本人が馴染みになり、説得してもらう

ご本人が納得するまでに時間がかかるようであれば、まず訪問サービスを導入し、慣れてきた頃に通所を進めていく方法もあります。

若いころから人付き合いを好まなかった人などは、無理強いになることもあり、ご本人の負担感にも配慮が必要かもしれません。

ご本人の気持ちを少しでも理解しようとする接し方が大切です。

通所だけにこだわらず、本人とご家族が穏やかに暮らせるように医師や介護支援専門員と相談しましょう。

介護保険制度には、居宅サービスとして「訪問サービス」と「通所サービス」、「短期入所サービス」、「福祉用具貸与」などがあります。

- ◆訪問サービスは 訪問介護・訪問入浴・訪問看護・訪問リハビリテーションなど、専門職が家庭を訪問し、必要なサービスを提供します。
- ◆通所サービスは 通所介護（デイサービス）・通所リハビリテーションがあります。

## 認知症電話相談（高齢者総合相談事業）のご案内

☎ 092 (584) 3317（福岡県社会福祉協議会 県民サービス部 評価・相談課）

相談は無料です。お気軽にご相談ください。

- 認知症予防について ●認知症の症状について ●介護の方法について
- 介護疲れや悩みの相談 など

- 担当相談員 介護経験者 火曜日、金曜日（認知症の人と家族の会福岡県支部）  
保健師 木曜日、土曜日（福岡県在宅保健師若草会）
- 相談時間 10：00～16：00

# ソウェルクラブ新規会員募集中!

魅力ある職場づくりにソウェルクラブがお役に立ちます

## <福利厚生センター (ソウェルクラブ) とは>

社会福祉法に基づき、社会福祉事業に従事する職員に健康・生活・余暇・啓発など多様な福利厚生サービスを提供する全国で唯一の厚生労働大臣から指定された法人です。

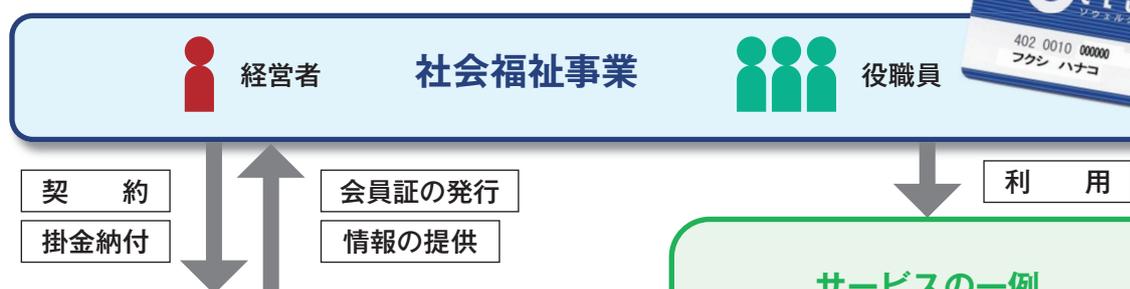
## <入会できるのは>

- 社会福祉事業に携わる常勤の役職員。
- 非常勤職員、嘱託職員、パートタイマーなどの職員及び法人の非常勤役員や、同一法人において社会福祉事業以外の公益事業、収益事業に従事する職員。

## <掛金は>

- ① 年間1万円コース 常勤または非常勤職員対象
  - ② 年間5千円コース 非常勤職員対象
- ※非常勤職員は①または②のどちらかを選べます

## ソウェルクラブのしくみ



**ソウェルクラブ (福利厚生センター)**  
ソウェルクラブ都道府県事務局

指導監督 **国** 運営費補助金

**会員様の声**

- ・良い席が取れるので嬉しいです!
- ・永年勤続記念品を楽しみにしています!
- ・エステ&ランチは大変人気があります!
- ・毎回楽しく参加させていただいています!

加入のお申込み・お問い合わせは  
福岡県社会福祉協議会 人材・情報課  
(ソウェルクラブ福岡事務局)  
☎ 092 (584) 3330

**サービスの一例**

- 1万円コースのみ利用できるサービス
- 生活習慣病予防検診費助成
- 健康生活用品の給付
- 結婚・出産・入学お祝い品贈呈
- 資格取得記念品贈呈
- 永年勤続記念品(5年毎)贈呈
- 入院・手術・災害見舞金他
- 各種講習会
- 指定保養所、ホテル等割引
- 会員情報誌
- ソウェルクラブ“クラブオフ”
- 会員交流事業 (福岡県事務局実施)

福岡ソフトバンクホークス公式戦、博多座公演、ミュージカル・コンサート・展覧会、映画鑑賞券、エステ&ランチプラン等を割安な値段でご案内しています。



全国180万人加入!!

# ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

Aプランは  
死亡1,200万円  
入院6,500円、通院4,000円  
賠償責任5億円(限度額)  
を補償

活動場所と自宅  
との往復途上の  
事故も補償

ボランティア活動  
のための  
学習会・会議など  
での事故も補償

ボランティア自身の  
食中毒・熱中症・  
特定感染症もOK



	基本タイプ	天災タイプ
年間	Aプラン 300円	460円
保険料	Bプラン 450円	690円

◇天災タイプは基本タイプ+地震・噴火・津波を補償

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

## ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

- 行事参加者(主催者[個人]を含みます。)全員のケガを補償(往復途上も含みます。)
- 行事主催者の損害賠償責任も補償



## 福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外サービスを含みます。)
- 障害福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 地域福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業 など

## 送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者を選定したAプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したBプラン

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

(引受幹事保険会社) **日本興亜損害保険株式会社**  
TEL:03(3231)7545

# 福祉のじごと就職フェア2014 in FUKUOKA

平成25年度第2回福祉の職場合同就職面談会



平成26年  
**2月7日** **金** **参加無料**  
 予約不要 入退場自由

**参加対象** 平成26年3月末大学・専門学校等卒業予定者  
 福祉関係施設等への就職希望者、無資格・未経験可

**就活応援セミナー** 10:30~12:00(受付9:30~)

テーマ 「自分に合う職場のを見つけ方」  
 講師 株式会社リクルートキャリア 門野 友彦 氏

先着250名  
 予約不要

**就職面談会** 13:00~16:00(受付12:00~)

採用担当者や施設職員と直接面談し、仕事内容、職場の  
 雰囲気、待遇など様々な質問にお応えします。

**参加無料**



問い合わせ先  
**社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会** (福岡県福祉人材センター)  
 〒816-0804 福岡県春日市原町3-1-7 クロバープラザ2階  
 TEL 092-584-3310 FAX 092-584-3319

詳しくはこちら [福岡県福祉人材センター](#) 検索